

## 第4回 医療介護連携推進のための多職種研修会(2019年9月26日開催)

## アンケート集計結果

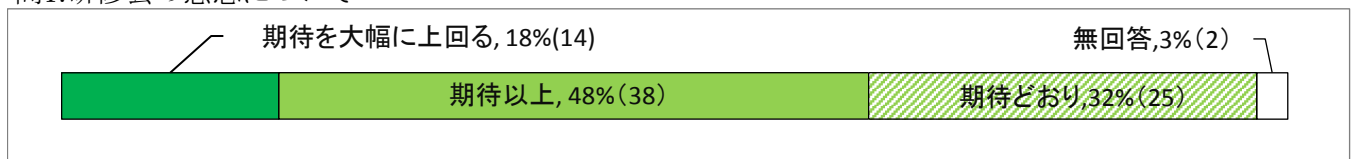
<講演>グリーフサポート  
 ~「深い悲しみにある人を支えたい」と思っているあなたに~  
 講師:一般社団法人グリーフサポート研究所  
 代表理事 橋爪 謙一郎 氏

出席人数	93人
提出人数	79人
回答率	84.9%

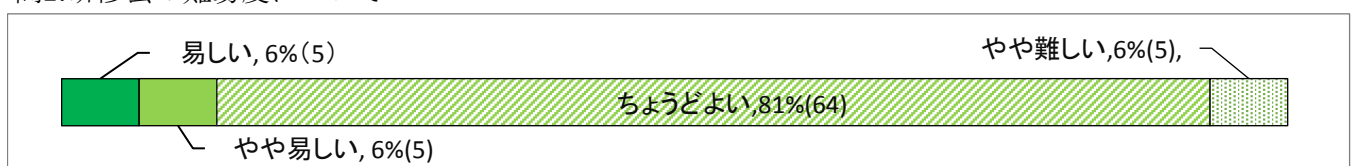
## ※回答者の職種内訳

職種	人数	回答率	職種	人数	回答率
歯科医師	2	2.5%	栄養士	2	2.5%
薬剤師	6	7.6%	歯科衛生士	1	1.3%
保健師	1	1.3%	医療ソーシャルワーカー	1	1.3%
看護師(病院)	5	6.3%	社会福祉士	4	5.1%
看護師(訪問)	12	15.2%	介護支援専門員(事業所)	22	27.8%
看護師(包括)	1	1.3%	介護職員	11	13.9%
理学療法士	1	1.3%	その他	6	7.6%
作業療法士	3	3.8%	無回答	1	1.3%
			計	79	100%

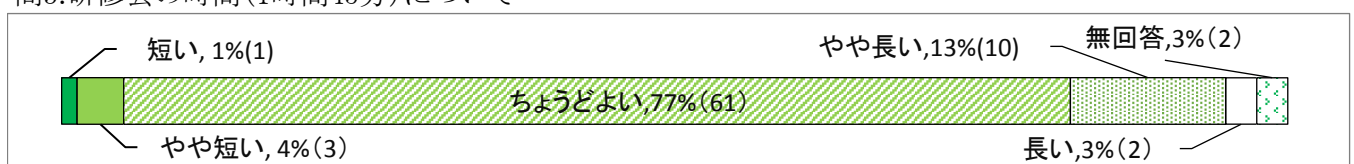
## 問1.研修会の感想について



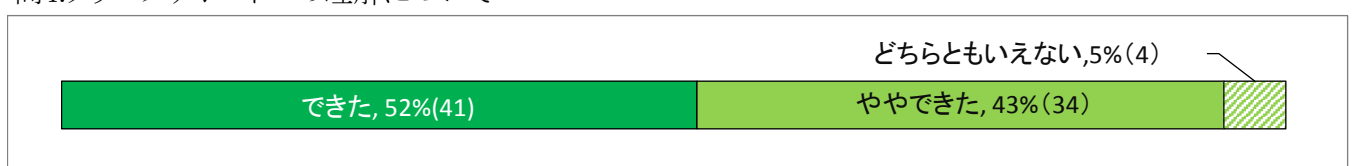
## 問2.研修会の難易度について



## 問3.研修会の時間(1時間45分)について

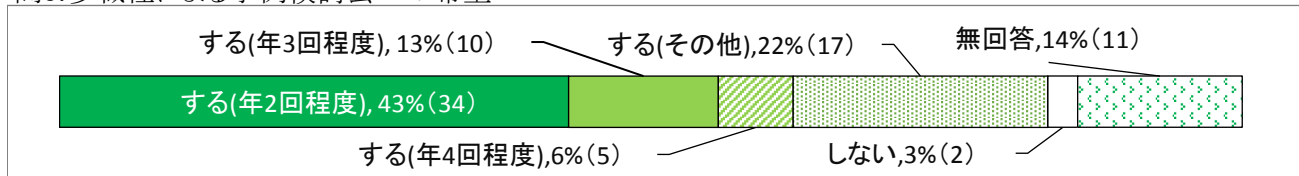


## 問4.グリーフサポートへの理解について



- 問1. 今回の多職種研修会が全体を通して期待以上だったと感じた方は約66%  
 問2. 研修会の難易度について「ちょうどよい」と感じた方は約80%  
 問3. 研修会の時間(1時間45分)が「ちょうどよい」と感じた方は約77%  
 問4. グリーフサポートについて知ることができたと答えた方は約95%

## 問5.多職種による事例検討会への希望



問5. 多職種研修会の事例検討会を8割の方が希望すると答え、うち「年2回程度」を希望した方は約47%

## 問6 今回の研修を受けて在宅医療・介護連携推進について「気づいたこと・考えたこと」「これから自分で取り組みたいこと・やってみたいこと」

- ・ 会員に今回の研修内容を伝えていきたい。
- ・ 最近は終末期の方が多くグリーフについてお話を聞いてみたいと思いました。利用者が亡くなるとご家族は何を望んでいるのか？と思ってましたが、思いや感情を共有できる時間をつくるようにしたいと思います。
- ・ 人はひとりでは生きられない。互いに気づき、互いに支え合う。常にグリーフは、皆持っている。または体験していくもの。
- ・ グリーフサポートの意味がわかって良かったと思います。今まで、グリーフというと亡くなる直前の話かと思っていました。
- ・ 今、関わってる利用者さんの殆どがグリーフ状態だと思った。本人の心のフタが開けて信頼できるように支援に活かしたい。
- ・ 自身が体験した事を言語で表現していただいた様な気がします。実感を持って他者へ説明できます。
- ・ グリーフサポートの視点を持つことで、より良い連携ができると感じました。この視点を同職種、他職種に伝えていきたいと思いました。
- ・ グリーフの意味がわかった。グリーフ状態に周りが気づくことが重要だと思った。
- ・ 在宅患者さんの担当者会議を開くが、その方が亡くなられたら解散する(当たり前ですが)、死後も家族のための担当者会議等をやれると良いと思った。
- ・ グリーフケア対象者が死別以外にも幅が広い事を学んだ。私達支援者の多くの人達が無気力感を体験していると思う。人と人の繋がりも大切、悲劇のヒロイン、ヒーローでいたい人だって居るんだ。あの家族は、そうなんだきっと。
- ・ 知識を他事業所、関わる人達と共有していきたい。
- ・ 利用者さんが亡くなった後の家族のケアまでなかなかできていないので、これからはもう少し意識して関わっていききたいと思います。
- ・ 患者の訴えは「グリーフ」かも知れないと思った。
- ・ コミュニケーションの中で取り入れてみたいと思います。それがグリーフ状態になった人に出会った時にも応用できるのでは？と思います。
- ・ 母が若年性認知症なので、介護家族として実際の話、知らない人に伝える活動をしています。今後はより認知症について学び、認知症や介護は身近なものであると広めたいと思っています。
- ・ 色々な方々の見方、接し方ができると思います。
- ・ ゴミ屋敷の方の対応。

## (問6ー続き)

- ・ グリーフケアは、亡くなった後だと思っていましたが、喪失が始まった時から始まっていることがわかりました。
- ・ グリーフサポートは役立てていけると思います。考え方が変わりました。
- ・ グループに分ける意味はあるのでしょうか。
- ・ 橋爪先生のお話から「言語(専門用語)」について話し合ってみてはどうか。
- ・ 多職種との連携は大切であると思うが、現状は顔を合わせることも話すことも少ないと思う。個別で活動しているイメージの方が大きい。
- ・ 自分の両親のフォローも含めてやってみたい
- ・ グリーフサポートについて復習し、投薬等で患者さんと関わっていききたい。
- ・ 具体的なものは無いですが、多職種が繋がるきっかけになる研修を望みます。
- ・ もっと様々な職種の方々と連携して色々な方面からの支援を検討できるようになりたいと思いました。

## 問7.今後、研修で知りたい情報等や期待すること

- ・ 施設での看取り(施設で亡くられる方が、まだまだ少ないと思うので研修から看取りを受け入れる施設が増えてくれたらいいと思うから)。
- ・ 認知患者に対する連携の仕方。
- ・ パワーポイントにあったグリーフではなくモーニングについて、より詳しく知りたい。
- ・ 障がい者。高齢者のネットワークについて(ろう者、盲者、知的・・・)。
- ・ 今回の内容をもっと掘り下げて欲しい。
- ・ 連携成功例。
- ・ またお話上手な方を、ぜひ呼んでください。為になりました。お疲れ様でした。
- ・ 困難事例発表、デスカンファレンス。
- ・ とても良い研修で知識が拡がりました。